

今シーズンのインフルエンザの状況

2017年1月10日

(1月9日までの報告です 1/9~1/15が第2週です)

	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	4週	5週	6週	合計
インフルエンザA	4	9	3	5	12	8	25	33	44	63	160	27	0	0	0	393
インフルエンザB	1	0	0	0	1	3	1	2	4	0	0	0	0	0	0	12
臨床診断	0	0	0	0	1	1	0	2	5	7	23	0	0	0	0	39
総診断数	5	9	3	5	14	12	26	37	53	70	183	27	0	0	0	444

(52週は2016.12.26~2017.1.1.までです。)

1月9日までに21の医療機関より444例の報告がありました。52週は70例の報告でした。本格的な流行が立ち上がりました。今後2-3週のうちに週の報告数が400例から500例となりピークを迎えると予想されます。吉備医師会の有志の方より毎シーズン4000例前後の報告があり、教育委員会からは1500例前後あります。今シーズンは流行の立ち上がり早く、2014-2015のシーズンに似ています。

岡山県の11月・12月のインフルエンザウイルス検出状況は、23例すべてAH3型(香港型)でした。

下のシーズン別型別報告数からは、今シーズンはB型の大きな流行はなさそうで、A型の流行で終息するのではと予想しています。

1/9までの年齢記載のある報告の内、15歳以下の小児の報告数は30%です。2015-2016では55%が15歳以下でした。

3学期が始まり、クラスにウイルスが持ち込まれると数日のうちにほとんどの子が感染してしまうことになり、小児での流行が始まります。

飛沫感染ですので、患者の周囲の席の子たちから感染していきます。体調不良の場合は無理をせずに休んでください。

各施設での流行は2週間程度です。およそ半数が罹患すると流行は終息します。

咳エチケット・マスクの着用・手洗い等の予防に努めるとともに、集団にウイルスを持ち込まないように、体調不良の場合はゆっくり休むように指導して下さい。

部活、学童、延長保育・土曜保育などで患者が出ると、施設全体に拡大していきます。

夜に発熱があり、朝解熱していても、丸1日発熱がないことを確認して登園・登校させるようにして下さい。

